

明るく、楽しく、面白く。



CSR REPORT

2020



株式会社 ニラク・ジーシー・ホールディングス
NIRAKU GC HOLDINGS, INC.*

(Incorporated in Japan with limited liability 於日本註冊成立的有限公司)

Stock Code 股份代號: 1245

CSR REPORT

2020

はじめに

当社は、日本の福島県においてパチンコホール業界をリードしております。パチンコホール運営に関する60年以上の経験から、当社グループは地域貢献をはじめ、ESG(環境・社会・ガバナンス)に着目することが経営にとって不可欠であり、また、当社の企業理念から導き出されるものであると考えています。

当社は、長期にわたり企業価値を高めていくことを目的に、CSRレポート(以下「当レポート」)を公表致します。当レポートがステークホルダーの皆様へ、当社グループの取り組みをご理解いただく機会となれば幸いです。

本レポートについて

本CSRレポートは、香港証券取引所におけるメインボード上場規則の附属書類27(ESGレポートガイド)に準拠し、株式会社ニラク・ジー・シー・ホールディングス(以下、「NGCH」または「当社」)の環境・社会・ガバナンスに関する情報を開示しています。

※ガバナンスに関する情報は、別紙「Annual Report 2020」コーポレート・ガバナンス報告書を参照

当グループの活動は主に当社グループの子会社である株式会社ニラク(以下「ニラク」)の主事業であるパチンコホール経営であることから、本レポートは、ニラクにおけるCSRへの取り組みを中心とした内容となっています。

本レポートは、特に記載ある場合を除き、アニュアルレポート2020と同様に2019年4月1日から2020年3月31日までを報告期間としています。

本レポートは、リスク管理担当執行役(CRMO)により編集され、取締役会にて承認されています。



トップメッセージ

世の中を「明るく、楽しく、面白く」するために
地域の皆様とともに歩み、その発展に貢献します。

私たちは、1950年の創業当初から地域社会とのつながりを大切にしてきました。その姿勢は「明るく 楽しく 面白く」というニラクの経営理念に受け継がれています。時代は移り変わり、社会の多様化も進んできている中、社会が要請する企業に対する期待や役割も世界規模で変わってきており、私たちが果たすべき責任はますます大きくなっていきます。私たちは、その要請に応えるためにも常に経営理念に立ち返り、社内、そして社外に対して行動をする取り組みをしています。

創業以来、私たちは「会社は社会の公器」という考えのもと活動をしてきています。私たちは、コーポレート・ガバナンスの強化、コンプライアンス体制の徹底を基本に置き、事業活動を誠実にやり、私たちの商品やサービスを通して、多くの人に「明るく 楽しく 面白く」を届け、そこに暮らす様々な人たちと共に、生き活きと暮らせる社会の実現に貢献したいと思っています。これこそが、私たちが果たすべき社会的責任であり、それを実現していく過程において、地域社会に対しての課題に真摯に対応していくことが、私たちのCSR活動であると考えています。

株式会社ニラク・ジ・シー・ホールディングス
取締役会議長 兼 代表執行役 谷口久徳



経営理念

明るく、楽しく、面白く。

Happy Time Creation

私たちは、世の中を「明るく、楽しく、面白く」していくことで、
人々の幸せな時間を創造していきます。

企業指針

ニラクが経営理念を実現するための基本的な方針
一人ひとりの道しるべ



CONTENTS

CSRへの取組方針とステークスホルダーエンゲージメント	05
CSR基本方針・CSR体系図	06

Action 01 地域社会のために	アクティブ・ローカル・エンジンとは	08
	○慈善・ボランティア活動	09
	店舗の活動/全社の活動	
	○社会貢献活動	10
	スポーツ振興支援/お祭りやイベントへの参加・協賛/依存(のめり込み)問題対策	

Action 02 お客様のために	安心・安全に遊技していただくために	12
	○依存(のめり込み)対策	13
	基本方針(責任あるゲーミング)	
	○その他、具体的な取り組み	14
	お子様の車内放置防止対策/受動喫煙防止対策	
	全店舗にAED配置/BCPIに基づく災害時の避難訓練、避難誘導/だれでもトイレの設置	

Action 03 社員ののために	人財に関する考え方	17
	○多様な人財が活躍できる企業風土づくり	18
	女性活躍の推進	
	イクボス宣言/女性内定者一人ひとりへの支援/女性のための勉強会への参加	
	株式会社ニラク・メリスト	
	○人財を育成し組織を活性化	22
	教育研修制度	
	○働きやすい職場環境づくり	23
	働く環境の整備	
	主な社員支援制度/労使関係	

Action 04 環境のために	環境に対する方針	26
	環境マネジメント	27
	○電力量と電力コスト削減	28
	LED照明の導入/店舗利用電力の削減/ビジネスセンター太陽光発電	
	○環境保護への取り組み	29
	温室効果ガスなど排出物削減への取り組み/省資源への取り組み	

Action 05 信頼のために	コンプライアンスに対する方針	31
	○行動規範とコンプライアンス体制	32
	風適法遵守体制	
	不正防止	
	汚職行為(腐敗)防止	
	リスクマネジメントに対する方針	34
	○リスクマネジメント規定	35
	Anti Money Laundering/BCP(事業継続計画)	

報告ガイドライン対照表	36
フィードバックのお願い	38

CSR REPORT

2020

CSRへの取組方針とステークホルダーエンゲージメント

取締役会は当社グループのCSRに関連するリスクを評価、決定し、適切かつ効果的なCSRに関するリスクマネジメントを行い、適所に内部統制システムを整備することを含み、CSRに関する戦略に対しての責任を有しています。

当社グループは、関連するCSR上の課題を識別し、それらの課題が当社グループの事業、およびステークホルダーの皆様に対して有する重要性を評価するために、日々の業務のレビューや内部のディスカッションを通じて、経営者および当社グループ内の異なる部門の従業員との間で検討を行いました。

その結果、重要と考えられるCSR上の課題に関して、当レポートにて詳細を記載しています。

なお、当レポートの報告期間において、当社グループは、これらの重要な課題に関連する領域において、当社グループに重要な影響を与える法規則の不遵守または違反を認識しておりません。

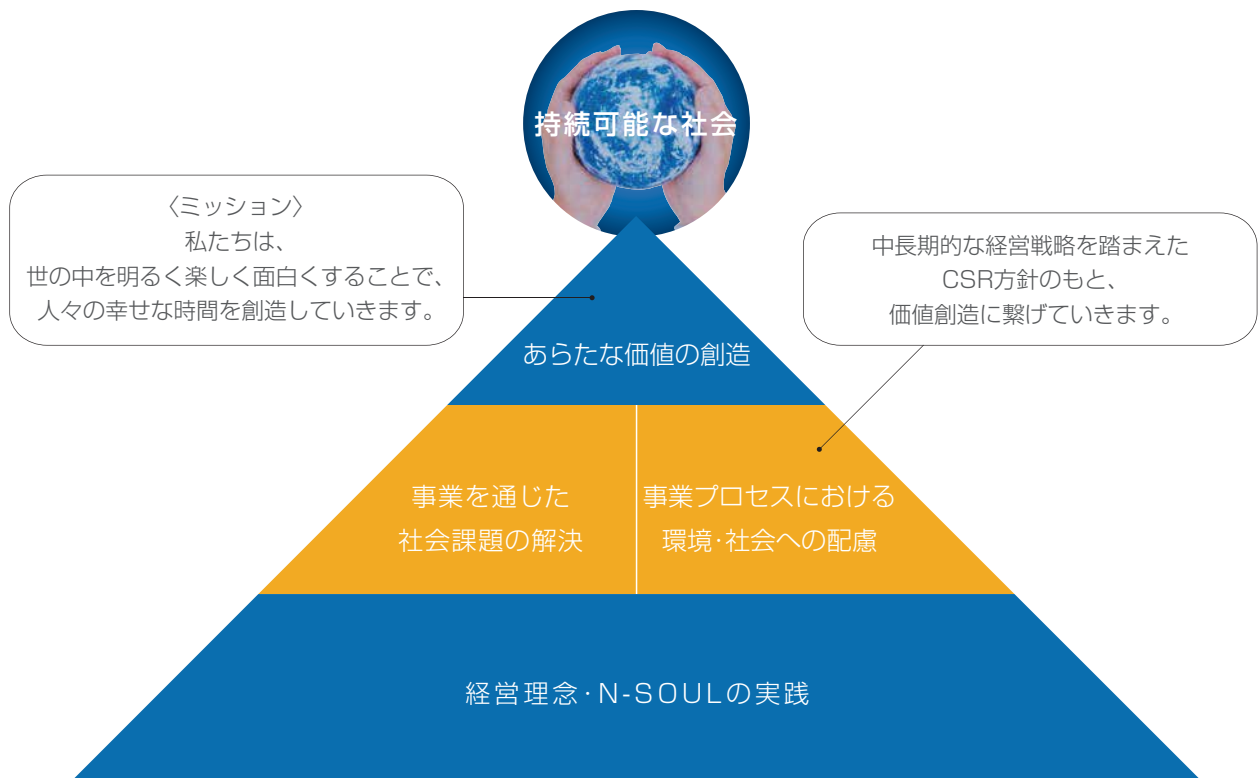
当社グループは、ステークホルダーの皆様のご関心に、これまで以上に対応するために、皆様からのフィードバックを募集しています。

フィードバックの詳細については、巻末の「フィードバックのお願い」をご参照ください。

CSR 基本方針

私たちニラクは、「世の中を、明るく楽しく面白くすることによって人々に幸せな時間を創造する」という経営理念のもと、会社・店舗そして一人ひとりが良き企業市民として、社会全体および各地域社会との関係の中で、相互に持続可能な発展に貢献していきます。

CSR 体系図



Action
01

地域社会のために
for local communities



コミュニティやお取引先様のために



CSR REPORT 2020

ACTIVE LOCAL ENGINE 地域を活かす
エンジン、始動。

ACTIVE LOCAL ENGINE

アクティブ・ローカル・エンジンとは

Active Local Engine (アクティブ・ローカル・エンジン)とは、
CSR基本方針のもとに、
様々な活動を通して地域とのつながりを創っていきこうという当社のCSR活動の総称です。

私たちニラクは、店舗を中心に地域とどのように共生していくかという課題について取り組んでいます。そのひとつの活動として、「アクティブ・ローカル・エンジン」があります。

具体的には、店舗の商圏内の、小さな「面白い」「楽しい」事を集め、お客様や地域の方々と共通の話題を創生し、一緒に「面白い」「楽しい」事を共有していきこうと考えています。さらに、従来から実施している、地域社会へのCSR活動や、慈善寄付活動なども、この統一したコンセプトの下に推進しています。

ACTIVE LOCAL ENGINE

慈善・ボランティア活動

出店地域の自治体や慈善団体への寄付・寄贈・チャリティ活動を通じた支援活動を行っています。

店舗の活動

●菓子や鉛筆の寄贈

ニラクの店舗では、お客様のご厚意によって集められた端玉菓子や端玉鉛筆を集め、地域でのイベントや、児童施設、社会福祉協議会、県内小学校などに寄贈しています。

●プルタブ・アルミ缶を収集、車椅子にする活動に参加

2009年より、ボランティア団体 環公害防止連絡協議会(奈良県)が実施するプルタブ、アルミ缶を収集し、車椅子にする取り組みに参加をしています。この作業は主にニラクの店舗で活躍する、障がい者雇用を推進する特例子会社「株式会社ニラク・メリスト」の従業員が担当しています。

●その他の取り組み

ニラク全店で実施している寄付付きPB景品の取り組み「お菓子プロジェクト」や、福島県内の一部の店舗で取り組む「福島ファイヤーボンス応援プロジェクト」では、収益の一部等を関連団体へ寄付・寄贈しています。また、店舗で使わなくなったパチンコ台やスロット台を店舗周辺の社会福祉施設等へ寄贈する取り組み等を行っています。



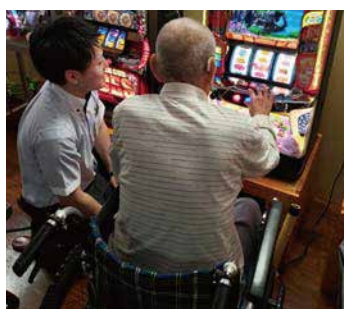
全社の活動

●様々なボランティア活動に参加

2011年3月11日東日本大震災以降、一般財団法人 日本遊技関連事業協会 東北支部が取り組む様々なボランティア活動に参加をしています。

●献血活動への協賛と協力

ハートフルサタデー献血推進実行委員会が主催する献血活動に協賛・協力をしています。



ACTIVE LOCAL ENGINE

社会貢献活動

当社では、社会貢献活動として、主に文化・環境、教育、雇用などに関わる支援を行っています。

スポーツ振興支援

●「福島ファイヤーボンズ」とスポンサー締結

当社は、2011年3月11日の東日本大震災以降、次世代を担う子どもたちを願い設立された地元プロバスケットボールチーム「福島ファイヤーボンズ」の理念に共感し、夢と希望をあたえるバスケットボールの発展を応援、スポンサー締結をしています。ホーム戦での毎試合では、障がいをお持ちの方や車椅子の方が観戦できるニラクシートに無料で30名を招待しています。



福島ファイヤーボンズ[B.LEAGUE]
チーム名「ファイヤーボンズ」は、燃え上がる闘志「ファイヤー」と、「絆」「結束」を意味する英単語「Bonds」「ボンズ」に由来する。

お祭りやイベントへの
参加・協賛

●須賀川市「釈迦堂川花火大会」

毎年8月に福島県須賀川市で開催されている「釈迦堂川花火大会」では、ニラク須賀川店の敷地全てを無料開放し、24時間チャリティ募金活動や出店屋台の収益の寄付、敷地内でのイベントの主催・運営などを行い、地域の方々と積極的な交流を図っています。



●「店舗周辺の地域清掃活動」

出店地域の店舗周辺の清掃を定期的に行っています。また、一般社団法人 日本遊技関連事業協会が主催する「全国クリーンデー」活動では、毎年全店舗が参加しています。



●「郡山を明るくともそう。」

楽しくなるイルミネーション」

毎年11月に「郡山を明るく灯そう「楽しくなる木」イルミネーション」と題した当社主催によるワークショップを、地域の専門学校やニラクの店舗ラウンジ等で、地域の方々や小学生、ニラク店舗のお客様を対象に行っています。「楽しいとき・嬉しいとき」をテーマにそれぞれの方の想いを描いたランブシェードを郡山駅でのイルミネーションイベント「ビッグツリーページェント・フェスタ in KORIYAMA」で約2か月間装飾し、郡山駅前の冬を明るく彩っています。

依存(のめり込み)問題
対策

当社はギャンブル等依存問題への対策をホール企業の社会的責任(CSR)と考えており、基本方針である「責任ある遊技」を掲げて依存対策に積極的に取り組んでいます。

基本方針である4つの柱「①従業員の教育、②予防の促進、③セーフティネットの整備、④地域社会との共生」を軸に、過度なめり込みの予防と拡大防止を目指して対策に取り組んでいます。

●第1回「依存対策啓発セミナー～パチンコ依存を知り、依存対策について考える～」

ギャンブル等依存症対策基本法を受けての啓発週間である2019年5月15日(水)に、依存問題に関わる方や、関心のある方々49名を対象にした無料セミナーを開催しました。このセミナーでは、ギャンブル依存とは何か、そしてパチンコ依存問題とその背景について理解を深め、地域の方々がこれからの対策のあり方を話し合える場を目指し、二部構成で実施しました。



●第2回「ばちんこ依存対策勉強会 in 郡山」

2019年11月8日(金)に、ばちんこ関係者と地域支援に携わる方々約80名を対象にした無料セミナーを開催しました。このセミナーでは、ばちんこ事業者が行う依存対策と地域の支援・取り組みについて、互いに共有する場を目指し、開催しました。



Action
02

お客様のために
for customers



ニラクをご利用いただく全ての人々のために





CSR REPORT

2020

安心・安全に遊技していただくために

当グループでは、「お客様起点」の行動指針のもと、お客様の視点に立った遊技環境の改善や接客サービス向上に取り組んでいます。地域の人々に憩いの場を提供し、パチンコ・パチスロを遊技しないお客様にも気軽に立ち寄っていただけるような親しみやすさをモットーに楽しく落ち着いた時間を過ごせる店づくりを目指しています。

依存（のめり込み）対策

基本方針

〈責任あるゲーミング〉

2016年12月のIR推進法可決を背景に、先進的な依存対策研究を推進し、さらなる対策強化を図るべく、具体的なアクションプランの構築に取り組んでいます。2018年5月には「責任あるゲーミング」の考え方のもと、基本方針を立て、宣言しました。

ニラクは自らが提供する遊技によって起こる可能性のある過度なめり込みについて、責任をもってこれを予防し、最小化する努力をしていきます。

[新しい考え方] 責任あるゲーミング

- 予防と啓発を促し、問題の発生を抑える
- 正しい遊び方を伝える
- リスクを明示する
- より楽しく遊んでもらう

CSRとしての「責任ある遊技」



のめり込みの問題に向き合うには、我々が正確な知識をもつことが必要です。正確な知識をもつことは、目の前のお客様の遊技状況やその背景についてより深く考えるきっかけをつくります。そして、お客様の気持ちに寄り添った行動をすることにつながっていきます。

1 従業員の教育

正確な知識をもった従業員を育成することにより、お客様の過度なめり込みを予防し、早期発見につなげていきます。

従来の対策は、起こった問題に対して処置を施すものが中心でした。当社は、その前段階の予防に取り組むことにより、問題の発生を抑えるよう努めていきます。

2 予防の促進

適正な遊び方や健康的な行動習慣を促進し、お客様が無理なく安心して遊技を楽しむことができるように適切なサポートをしていきます。

責任ある遊技

3 セーフティネットの整備

支援団体や回復施設と連携しながら、問題を抱えるお客様が早い段階で回復に向かえるように努めていきます。

店舗周辺の地域ごとにセーフティネット（安全網）を整備します。既存の相談窓口や支援団体とも協力、連携していきます。

4 地域社会との共生

上記の活動を通して、地域の方々いつでも安全に、そして安心して遊ぶことができる店づくりをしていきます。

お店は地域社会に支えられながら存在しています。お客様や地域住民の皆さまに「ニラクは安心して遊べる」「ニラクがここにあってよかった」と思ってもらえるように、地域社会の発展に寄与していきます。



その他、具体的な取り組み

駐車場巡回で万が一の事故を
未然に防ぐ

お子様の車内放置防止対策

ニラクでは、子どもの車内放置による事故を未然に防ぐ活動に尽力しています。駐車場を有する全店舗において、店舗スタッフ等が5～10月は1時間に1回、11月～4月は2時間に1回の間隔で駐車場を巡回し、車内にお子様が発生していないか、車輛の点検を行っています。2020年3月期においては、点検時に異常は認められず、事故の発生もありませんでした。



吸う人も吸わない人も
「ほっと」できる憩いの空間を
受動喫煙防止対策

健康増進法の改正に伴い、2020年4月よりパチンコホールは原則禁煙となり、ニラクは全ての店舗において完全分煙としています。ニラクは毎日安全・安心な環境で遊技していただけるように、以前より全席禁煙店舗（喫煙室を別途設置）を1店舗運営していました。今回の法改正では、吸う人も吸わない人も「ほっと」できる憩いの空間を提供できるよう、引き続き、遊技環境の改善・向上に取り組んでいきます。



その他、具体的な取り組み

お客様の安心のために
もしもの時に備える

全店舗にAED配置



2010年よりAED(自動体外式除細動器)の設置を開始し、2011年1月に全店舗・営業所での配備を完了しました。これに伴い、全従業員を対象に簡易型心肺蘇生シュミレーション・キットによる訓練を実施しています。現在は、配備機器の経年劣化を防ぎ、救急時対応をベストな状態に保つため、警備業者と委託契約した機器のメンテナンスおよびAED講習の一貫運用を行っています。

●訓練の主な内容

付属のDVD(約40分)を見て命の大切さ、第一発見者の重要性、AEDの正しい使い方と意義を学びます。
CPRトレーニング・ボックスを開け、疑似AEDとAEDパッドを準備し、樹脂成型心臓を胸骨圧迫し適切なタイミングと圧迫する強さの練習を行います。



お客様の信頼に確かな安全でお応えする

BCPに基づく 災害時の避難訓練、避難誘導



パチンコホールには、連日多くのお客様が来店されます。ニラクは消防法を遵守し、全ての店舗において消防訓練(年2回)、消防設備点検(年2回)、防火対象物点検(年1回)の実施とともに、従業員に対する防災教育を徹底し、お客様の安全確保に取り組んでいます。また東日本大震災による被災経験を踏まえ、2017年にBCP(事業継続計画)を策定し、緊急災害時を想定した定期的な訓練を開始しました。これらの取り組みにより、従業員一人一人の防災意識をさらに高め、災害への備えに万全を期しています。

●主な防災訓練と点検

消防訓練	2回/年
消防設備等点検	2回/年
防火対象物点検	1回/年



多様なお客様が
安心できる環境づくり

だれでもトイレの設置



障がいの有無や性別の制限などを問わず、お客様が安心して利用できるように、店舗のトイレを「だれでもトイレ」にしました。



Action
03

社員のために
for employees



ニラクで働く全ての人々のために





CSR REPORT

2020

人財に関する考え方

当社はすべての働く人が有益であり「財産」になっていくと考え、投資を行うことによって価値が高まっていく「人的資本」と捉えています。このような考えに基づき、当社は常に教育投資を欠かさず、従業員一人一人の力を最大限に活かすことができる企業文化の醸成に努めています。当社は、このような企業文化作りを進めると共に、個々の学びと成長の機会を全従業員に等しく積極的に提供をし、常に創新をおこすことができる人財の育成に努め、組織の活性化を図っています。

当社グループでは、採用、労働時間、有給休暇、雇用機会均等、福利厚生、労働安全衛生、労働災害など、日本国内における労働関連法規を遵守しております。



多様な人財が活躍できる企業風土づくり

ニラクは多様な人財が活躍できる企業風土を目指し、全ての従業員が様々な価値観やライフスタイルを持ち、それぞれの能力や個性を発揮できる職場環境の整備に力を入れています。

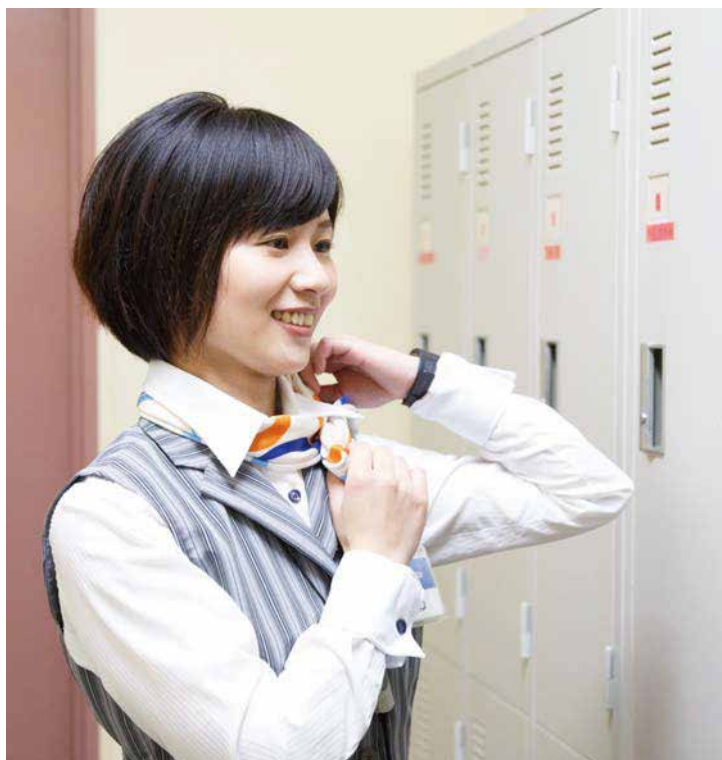


多様な人材が活躍できる企業風土づくり

すべての社員が
働きやすい環境を推進

女性活躍の推進

全ての社員が、就労の機会を得るだけでなく、その能力を向上させ、キャリア形成することの支援を目的に、働きやすい職場環境を提供することに取り組んでいます。これらの取組により、望ましいワーク・ライフ・バランスが実現でき、女性の活躍推進にもつながるよう努めています。



「えるぼしマーク」(三つ星)
取得
(女性活躍推進認定企業)

株式会社ニラクは、女性の活躍推進に関する取り組みの実施状況における優良企業として、2017年3月、厚生労働大臣より女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定段階3(※)の認定を受けています。

※2020年3月末日現在最高段階

厚生労働省
5つの認定基準

- ①採用
- ②継続就業
- ③労働時間等の働き方
- ④女性管理職比率
- ⑤多様なキャリアコース

● 役職者人数・女性比率

年	2017	2018	2019
合計	160	114	120
男性管理職者数	147	109	115
女性管理職者数	13	5	5
女性管理職比率	8.1%	4.4%	4.2%

※2018年度の人事制度変更による役職区分の変更のため、全体的に減少。

「プラチナくるみんマーク」
取得
(子育てサポート企業認定)



株式会社ニラクは、次世代育成支援対策推進法に基づく「子育てサポート企業」として厚生労働大臣認定の「くるみんマーク」を取得、さらに高い水準の取組を行うことで認定を受けられる「プラチナくるみんマーク」を2019年9月に取得致しました。

達成取り組み 1

男性の子育て目的の休暇の取得促進を図り、配偶者が出産した男性労働者に占める育児休業等の取得者および妻の出産のための特別休暇を利用した者の割合を50%以上にしました。

達成取り組み 2

育児を行う女性が就業継続、活躍できる取組として、子育て中の従業員対象セミナー座談会方式「NIRAKU CLUB」や「ニラクはぐ組み」を開催し、セミナー参加者のキャリアアップ促進を図りました。

多様な人財が活躍できる企業風土づくり

イクボス宣言

「イクボス宣言」は日本全国の自治体でその宣言が推奨されていますが、株式会社ニラクにおいても福島県が取り組む「イクボス宣言」の活動に賛同し、2017年3月に「イクボス宣言」を行いました。

女性内定者
一人ひとりへの支援

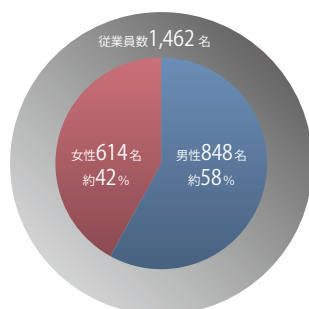
ワーク・ライフ・バランスについて、実際の体験をもつ女性先輩社員に引き合わせたり、制度や福利厚生について具体的にお話をして一緒にイメージを高められるようにしています。

女性のための
勉強会への参加

「日遊協女性活躍推進フォーラム」や「PCSA女性情報交換会」などの勉強会への参加を通して、女性のスキル向上や働きやすい環境実現に取り組んでいます。

●従業員数と男女比

[2020年3月31日現在]



多様な人財が活躍できる企業風土づくり

障がい者の職域拡大をめざす
特例子会社

株式会社ニラク・メリスト

当社グループは「地域社会の発展への寄与」という方針に基づき、障がい者の法定雇用率を達成してきました。2010年2月には特例子会社「株式会社ニラク・メリスト」を設立し、さらなる雇用推進をめざしています。「株式会社ニラク・メリスト」では、店舗や敷地内の清掃や除草、社宅や研修センターの清掃・管理など、障がいをお持ちの皆様がいきいきと働ける環境の整備や職域拡大に努めています。この活動が認められ、「平成28年度障がい者雇用優良事業所等全国表彰式」において厚生労働大臣表彰を受賞しています。



ニラクは
障がいを持つ方々にも
自分の能力を發揮し
生き生きと働いていただける
会社を目指します。



NIRAKU MERRIST

●障がいのある従業員在籍人数

	期末時点人数	実雇用率	法定雇用率
2020年3月期	43名	3.4%	2.2%
2019年3月期	45名	3.3%	2.0%
2018年3月期	42名	3.3%	2.0%
2017年3月期	47名	3.4%	2.0%

人財を育成し組織を活性化

階層別研修を実施
教育研修制度

リーダーシップ開発を中心に、良き企業文化の醸成を推進するとともに、未来を担う人財を発掘するための独自教育プログラムを通して、経営レベルのリーダー育成にも取り組んでいます。

●研修体系

等級	I		II		III	IV	V	VI
役職	新入社員		クルー	AMgr.	ストアMgr.	エリアMgr.	部長	取締役
職務	一般職層		初級管理層		中級管理層	上級管理層	トップ マネジメント層	執行役員
共通教育	コンプライアンス ハラスメント							経営リーダー 外部講座
部門別 階層別教育	営業部門	基礎研修 (当社の歴史、パチンコ基礎、 風適法基礎)	営業実務研修 (計数管理基礎)	営業実務研修 (セールス/労務管理)	営業実務研修 (マーケティング/セールス/労務管理)			
	スタッフ	各専門領域セミナー(外部)						
OJT	上長・トレーナーによる現場教育							
			ビジネススキル(中級)		ビジネススキル(上級)			

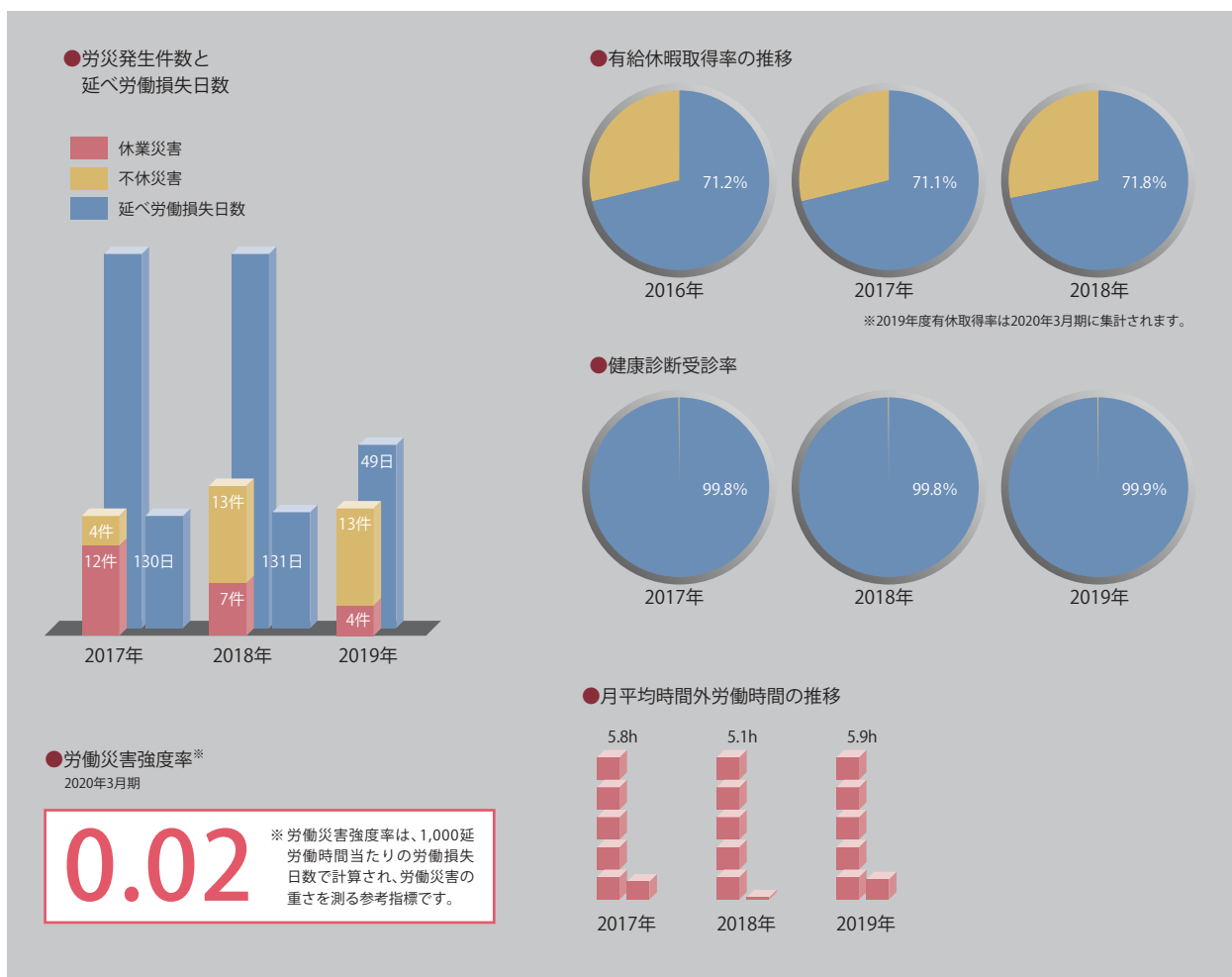


働きやすい職場環境づくり

万全の体制で一人一人の
働き方に安心を

働く環境の整備

労働災害の防止と業務上疾病の予防をめざし、事業場規模ごとに、総括安全衛生管理者（本部）、衛生管理者および産業医（従業員50人未満の事業場では安全衛生推進者）を設置し、安全衛生の実体や問題点の把握・改善に取り組んでいます。健康管理については、定期健康診断の他、社内および外部相談窓口としてニラクホットライン（内部通報窓口）やEAP（メンタルヘルス対応）を活用する他、長時間労働に対する産業医によるチェック、年次有給休暇取得の推進等を通して過重労働防止に努めています。



働きやすい職場環境づくり

従業員の将来にわたる
資産形成をサポート

主な社員支援制度

「確定拠出金制度」(2016年よりマッチング拠出制度を導入)や「財形貯蓄制度」「従業員持ち株制度」を導入し従業員の中長期にわたる資産形成をサポートすると同時に、「厚生貸付金制度」により災害発生時や家族の不慮の事故が起きた場合の資金ニーズにも応えられるようにしています。また、育児休暇、介護休暇、育児短時間勤務、職場復帰支援などの制度を整備し、従業員の人生の各段階のニーズに合わせた多様な働き方・生き方を選べるワーク・ライフ・バランス社会の実現に向けた取り組みにも企業として力をいれています。



労使相互の健全で
良好な関係を築くために

労使関係

2005年に労働組合「UAゼンセン ニラクユニオン」が結成され、ニラクと組合とによる労働協約を締結しました。以来、労使相互に協力し、社業の発展および労働環境の維持・向上と組合員のゆとりある生活の実現をめざした活動を続けています。労使の協議は定期的で開催され、労働環境や労働条件に関する改善意見をもとに課題の共有と解決へ向けた積極的な議論が行われる等、相互のよりよいコミュニケーションを通して健全で良好な労使関係の維持・向上を構築しています。



Action
04

環境のために
for the environment



かけがえのない地球環境のために





CSR REPORT 2020

環境に対する方針

当社グループは、「地球に感謝し、企業活動で発生する環境負荷を減少させるとともに、個人の環境保全活動を可能な限り支援する」という企業指針に基づき、低炭素社会の実現をめざした資源の有効活用および環境汚染防止等への取り組みを推進しています。また、日本国内で適用される環境関連の法令および条例を遵守しており、大気汚染、温室効果ガスの排出、水質・土壌汚染、有害・非有害廃棄物の発生などに関し、法令違反はありません。



環境マネジメント

環境への影響として特に重要視する地球温暖化防止をめざし、積極的に環境保全活動を推進しています。環境関連の法規を遵守するとともに、全てのホール・建物内の空調や照明等における消費電力の削減、社内ペーパーレス化、廃棄物リサイクル、水資源の削減等、事業活動のあらゆる局面で発生する環境負荷の低減に努めるとともに継続的に改善を行い、地球環境に配慮した事業活動を行って参ります。

積極的な環境保全活動の推進

主な 取り組み

- 電力消費の適正管理
- 社内文書のペーパーレス化
- 廃棄文書のリサイクル
- 節水型トイレの設置
- Web 会議、エコカー導入

具体的な事例

- 空調**
- ホール建物内の空調をこまめな温度管理により 26℃より下げない。
 - バックヤードにおいて、使用スペースと用途に応じた空調電源管理の実施。
- 照明**
- ホール内照明の一部消灯、自動販売機照明の消灯等。
 - バックヤードの照明の一部消灯、在室時以外の消灯。
- その他**
- 駐車場・駐輪場照明の一部消灯、ネオンの消灯等。
 - 使用機器、設備の必要以外の電源オフ管理等。

電力量と電力コスト削減

電力量および 電力コスト削減の取り組み LED照明の導入

ニラクは、電力削減への取り組みの一環として、東日本大震災翌年の2012年にビジネスセンターの照明器具をLEDに切り替えました。また営業店舗では、お客様の遊技環境改善と電力コスト削減の両立を目的に、2012年から2017年までの6年間で全店舗内外照明をLED照明に切り替え、照明にかかる電力量を継続的に削減しています。

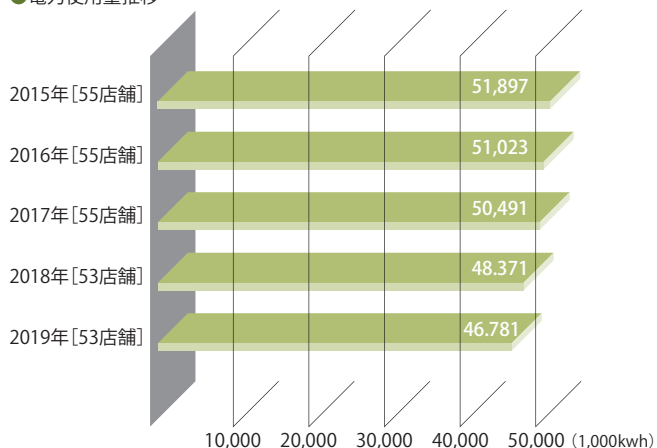


空調設備による 契約電力の削減を推進 店舗利用電力の削減

店舗電力量の約50%は空調設備が占めており、空調の電力量を抑えることが電力量削減に大きな効果を発揮します。そのため、既存空調設備の耐用年数と刷新した場合の投資コスト、及びその節電効果とを常に比較しながら電力量の削減に取り組んでいます。



●電力使用量推移

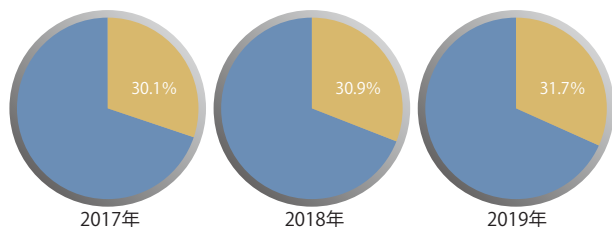


クリーンエネルギーの 積極的な活用

ビジネスセンター太陽光発電

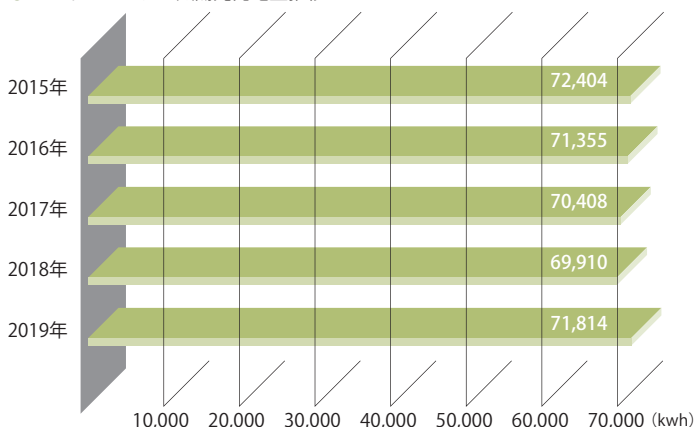


●太陽光発電が全電力使用量に占める割合



2012年6月にビジネスセンターにおいて、CO₂を排出しないクリーンエネルギーの一つである太陽光発電の運転を開始しました。稼働開始時から、ビジネスセンターで使用する電力の約30%を太陽光発電でカバーしています。2019年度発電量は71,814kWh、総使用電力の31.7%でした。

●ビジネスセンター太陽光発電量推移

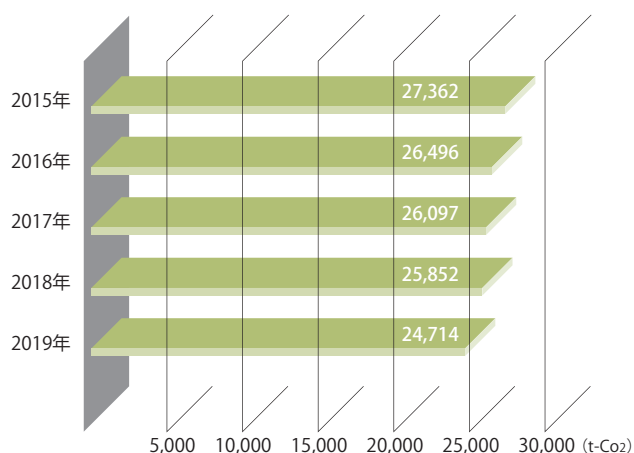


環境保護への取り組み

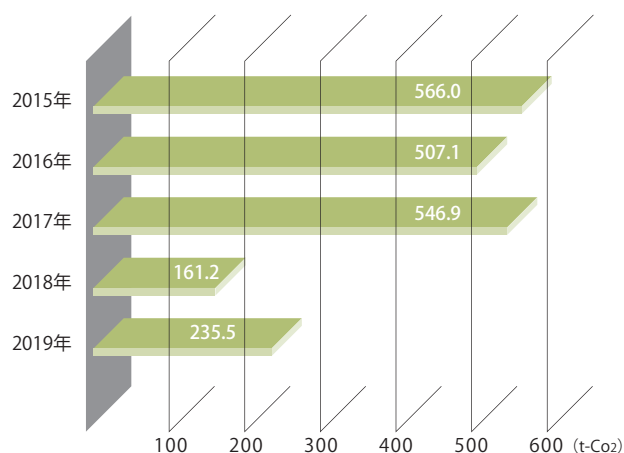
低炭素社会のよりよい実現をめざして
温室効果ガスなど
排出物削減への取り組み

ニラクは、省エネ法による特定事業者指定されています。燃料資源の有効活用のため、エネルギー使用合理化を推進するとともに、フロンガス排出抑制法に基づく空調設備管理を行い、温室効果ガス削減に取り組んでいます。

●使用電力調整後温室効果ガス排出量



●フロン排出量

限りある資源を
有効に活用する
省資源への取り組み

環境資源に対する負荷を抑制するため、社内会議での配布資料のペーパーレス化を進めています。特に会議頻度の高い営業部門においては、クラウドソーシングを通じた配布資料のデジタル化を徹底しています。月一回の営業政策決定会議では、遠隔地エリアについてweb会議を導入。移動手段を利用することで発生する温室効果ガス排出を低減させるとともに、移動コストを抑制しています。さらに、当社グループ全体で回収する廃棄文書を溶解処理し、再生紙へとリサイクルしています。また、節水トイレの設置やエコカーの導入など環境保護への取り組みを積極的に推進しています。



Action
05

信頼のために
for trust



企業体としての信頼と責任のために





CSR REPORT 2020

コンプライアンスに対する方針

当社グループは、独自に定めた倫理憲章において、企業の社会的責任とは倫理的・法的に公正な経営を通じて世の中に新たな価値を生み出すことであると宣言しています。各種法令や社会規範の遵守は当然のこと、高い倫理観と道徳観の発露を通じてお客様や社会から信用と信頼を得ることで、企業の社会的責任を果たし、もって社会発展に貢献していくことに継続的に取り組んでいます。

行動規範とコンプライアンス体制

二重のチェック体制で
風適法遵守を徹底

風適法遵守体制

パチンコホール運営において、最も重要な法律の一つである風適法（風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律）を遵守するため、ニラクでは、店舗とビジネスセンターにおいて、二重のチェック体制を構築しています。店舗では、法律要件に則したチェックを月1回の頻度で実施し、営業部・内部監査への報告をしています。さらにバックアップ体制としてビジネスセンター専門チームによる全店舗監査を2か月に1回実施し、内部監査への報告を行っています。



全店舗に遊技機取扱いの
有資格者を配置

不正防止

ニラクが運営するパチンコホールにおいて、内部・外部を問わず、遊技機に不正な改造を施す等の法律違反を防止するため、全ての店舗管理者が遊技機取扱主任者（一般財団法人 日本遊技関連事業協会）の資格を有し、設置されている遊技機の管理責任者として明確に規定しています。店舗管理者には、3ヶ月に1回以上の頻度で全台検査を義務付ける他、常時、業界内外の不正に関する最新情報を収集し、具体的な対策へと活かしています。



行動規範とコンプライアンス体制

第三者機関による
外部モニタリングを徹底

汚職行為（腐敗）防止

当社グループは倫理憲章をはじめとして就業規則・稟議規程・取引先規程・接待交際細則の数々の規程を設け、全ての取引において従業員による恣意的な判断を排除し、不正や汚職の防止につなげています。また、本部に取引先選定委員会を設置し、新規に取引を開始しようとする法人および個人に対し、適正な審査を行い取引開始日の可否を決定。既に取引を行っている法人および個人に対しては年1度のスクリーニングを行い、取引継続等を審査しています。

内外の通報窓口を設置し、従業員による優越的地位の濫用や不正行為等を防止し
全てのステークホルダーからご意見を受け入れる体制を整えています。

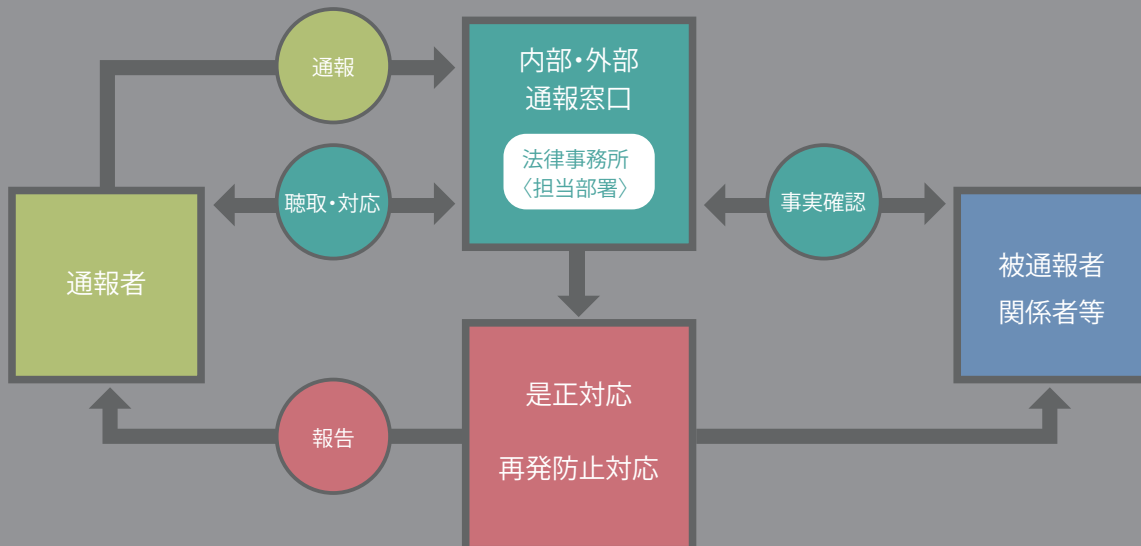
外部通報窓口

外部通報窓口では、社外コンサルタント担当（弁護士事務所）が第1次受付および通報者との橋渡し役として、通報内容を担当取締役まで確実に伝達し、是正や処分までをモニタリングしています。

内部通報窓口

ハラスメントや不正行為等の通報制度として、外部弁護士事務所へ窓口業務を委託しています。通報内容は個人情報の秘匿を厳守しながら担当取締役へ確実に伝達。是正や処分へとつなげています。

●ホットライン対応フロー





CSR REPORT

2020

リスクマネジメントに対する方針

当社グループは、事業の継続的及び安定的発展を目指し、かつそれらをより確実なものにするべく危機管理委員会を定期的に開催しています。当該委員会においては、災害、事故・犯罪、情報セキュリティやその他の重要なリスクの評価及び対応策の決定を行う一方、当該委員会の下部組織であるリスク管理部会を通じた継続的なモニターや社内啓蒙活動を実施することで、その有効性を担保しています。

リスクマネジメント規定

AMLリスクの発見
および低減促進を強化

Anti Money Laundering

当社グループの主な事業であるパチンコホール運営におけるアンチマネーロンダリング(AML)リスクの発見と低減を促進させるための管理を行っています。AMLに関する全ての事象は、危機管理委員会を所管する事務局へ集約され、検査・調査・点検を行い、当社のリスク担当執行役(CRMO)および監査委員会に報告されます。



※具体的な取組内容は、AMLポリシー (www.ngch.co.jp/jp/csr/) をご参照ください。

緊急時の速やかな
対応を推進

BCP (事業継続計画)

ニラクでは2017年にBCP(事業継続計画)を策定しました。迅速な意思決定および情報伝達を行うための危機管理体制のもと、有事の際にリスクを最小限にとどめるための体制を確立しました。予期せぬ危機的状況において、事業資産の損害を最小限にとどめ、事業の早期復旧および継続を可能とするため、BCPを運用し、定期的な教育訓練の実施、計画の見直し・更新を実施しています。この計画は、2019年の台風19号の際、甚大な被害を受けた地域で速やかな事業再開を可能にしました。



報告ガイドライン対照表

香港証券取引所上場規則

Environmental, Social and Governance Reporting Guide

主要項目	定性情報／指標		掲載ページ	
A. 環境 (Environment)				
A1: 排出物	定性情報	定性情報	大気への排出物、温室効果ガスの排出、水中及び陸上への排出物、有害あるいは無害の廃棄物に関連する方針	26-29
			発行者に重大な影響を与える関連法規の遵守状況	26
	指標	KPI A1.1	排出物のタイプ、及びそれぞれの排出物に関するデータ	29
		KPI A1.2	温室効果ガスの総排出量、また必要に応じて、排出原単位	29
		KPI A1.3	有害廃棄物の総発生量、また必要に応じて、原単位	Note 2
		KPI A1.4	無害廃棄物の総発生量、また必要に応じて、原単位	Note 2
		KPI A1.5	排出量を軽減する措置及び成果についての記述	26-29
KPI A1.6	有害あるいは無害廃棄物の取り扱い方、削減計画及び成果についての記述	26-29		
A2: 資源の消費量	定性情報	定性情報	エネルギー、水、及びその他の原料を含む資源の有効活用の方針	26-29
	指標	KPI A2.1	タイプ別の直接的および/または間接的エネルギー消費総量及び原単位	28-29
		KPI A2.2	水の総消費量、及び原単位	Note 2
		KPI A2.3	エネルギーを有効に活用するための計画及び成果についての記述	27
		KPI A2.4	自社の目的に適切な水の調達に課題があるかどうか、また、節水への取り組み及び成果についての記述	27
		KPI A2.5	完成品に使用される梱包材の総量、及び、該当する場合は各々の生産単位に紐づけた記述	N/A
A3: 環境及び天然資源	定性情報	定性情報	環境や天然資源に対して発行者が与える重大な影響を最小化するための方針	26-29
	指標	KPI A3.1	環境や天然資源に重大な影響を与える活動、また、それらを管理するための方策についての記述	26-29
B. 社会 (Social)				
B1: 雇用	定性情報	定性情報	報酬と解雇、新規採用と昇進、労働時間、休憩時間、機会均等、ダイバーシティ、反差別、及びその他の福利厚生に関連する方針	17-24
			発行者に重大な影響を与える関連法規の遵守状況	17-24
	指標	KPI B1.1	男女別、雇用形態別、年齢層別、及び地区別の従業員数	19-20
KPI B1.2		男女別、年齢層、および地区別の従業員離職率	Note 2	
B2: 健康及び安全	定性情報	定性情報	安全な労働環境の提供、及び業務上の危険からの従業員の保護に関連する方針	23
			発行者に重大な影響を与える関連法規の遵守状況	17
	指標	KPI B2.1	業務上の死亡者数及び割合	23
		KPI B2.2	労災による損失日数	23
		KPI B2.3	採用している労働安全衛生に関する施策、またそれらの施策がどのように実施、モニターされているかについての記述	17-24

報告ガイドライン対照表

主要項目	定性情報／指標		掲載ページ	
B3: 教育研修	定性情報	定性情報	従業員の職務遂行のための知識やスキルを向上させるための方針 研修活動についての記述	22
	指標	KPI B3.1	男女別、従業員カテゴリー別の、研修を受けた従業員のパーセンテージ	Note 2
		KPI B3.2	男女別、従業員カテゴリー別の、従業員一人あたりの研修時間	Note 2
B4: 労働関連法規	定性情報	定性情報	児童・強制労働の防止に関連する方針	Note 1
		定性情報	発行者に重大な影響を与える関連法規の遵守状況	Note 1
	指標	KPI B4.1	児童労働及び強制労働を防ぐために雇用慣行をレビューする方策についての記述	Note 1
		KPI B4.2	発覚した場合、そのような雇用慣行を排除するために取る措置についての記述	Note 1
B5: サプライチェーン マネジメント	定性情報	定性情報	サプライチェーンの環境・社会リスクを管理するための方針	33
	指標	KPI B5.1	地区別のサプライヤーの数	Note 2
		KPI B5.2	サプライヤー採用に関する施策、及びその施策が実施されているサプライヤーの数	Note 2
B6: 製造物責任	定性情報	定性情報	提供される製品・サービスについての安全・衛生、広告、ラベリングとプライバシーの問題、 及び補償方法に関連する方針	33-35
		定性情報	発行者に重大な影響を与える関連法規の遵守状況	33-35
	指標	KPI B6.1	安全面・衛生面の事由によるリコールを想定している販売済・出荷済の総製品の割合	N/A
		KPI B6.2	クレームを受けた製品及びサービスの数、また、どのように対処したか	Note 2
		KPI B6.3	知的財産権の遵守と保護に関連する施策についての記述	Note 2
		KPI B6.4	品質保証のプロセス及びリコール手続についての記述	N/A
		KPI B6.5	顧客情報の保護及びプライバシー・ポリシー	Note 2
B7: 腐敗防止	定性情報	定性情報	収賄、強要行為、詐欺、及びマネーロンダリングに関連する方針	35
		定性情報	発行者に重大な影響を与える関連法規の遵守状況	31-35
	指標	KPI B7.1	報告期間において発行者あるいは発行者の従業員に対して提起された汚職事件につき 結審した訴訟事件の数、及びその判決	NULL
		KPI B7.2	受領した苦情に関連する製品・サービスの数、また、どのように対処したか	31-33
B8: 地域社会への投資	定性情報	定性情報	発行者が事業を行う地域におけるコミュニティのニーズを理解し、コミュニティの 利益を考慮したうえでの事業活動を確保するための、コミュニティ参画に関する方針。	8-10
	指標	KPI B8.1	貢献を重点的に行う分野	8-10
		KPI B8.2	重点分野に寄与した資源	8-10

注 記

1. 当社グループは、強制労働や児童労働等の非人道的扱いや地球環境の汚染防止等、国際規範や国際イニシアティブ等の社会的要請を十分に認識しており、事業活動を行う国や地域で適用される法令や社会規範を遵守しています。
日本国内の取引先を含め、企業倫理に反する事例はありません。
2. 情報や統計の開示は、社会や環境に対するリスクや事業活動への影響の大きさに配慮し、状況に応じて適宜拡張を検討いたします。

フィードバックのお願い

当社グループのCSRレポートをご覧いただきありがとうございます。
当社グループのESGへの取り組み、およびCSRレポートの内容をより一層充実させるために、
当レポートに関してご意見・ご感想をお聞かせ頂けると幸いです。
ご意見、ご感想をお聞かせいただける方は、下記フォームにご記入の上、メール、ファックス、郵送のいずれかの形式でお送りください。
なお、戴いた回答は上記目的のみに利用し、個人情報等は第三者に対して提供致しません。
今後とも、当グループは「明るく楽しく面白く」という経営理念の下に、皆様に幸せな時間を提供してまいります。

Q1. どのようなお立場から本レポートをご覧になりましたか？

- | | | | |
|----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> お客様 | <input type="checkbox"/> 株主・投資家 | <input type="checkbox"/> 地域住民 | <input type="checkbox"/> 従業員 |
| <input type="checkbox"/> 業界団体 | <input type="checkbox"/> 取引先 | <input type="checkbox"/> 同業他社 | <input type="checkbox"/> 報道機関 |
| <input type="checkbox"/> 政府・監督当局 | <input type="checkbox"/> 学術・調査機関 | <input type="checkbox"/> その他() | |

Q2. 本レポートの総合的な評価についてお聞かせください。

- 1.非常に満足 2.満足 3.どちらでもない 4.不満足 5.非常に不満足

Q3. 本レポートの読みやすさに関する以下の点について、評価をお聞かせください。

① レポートの構成	1.良い	2.どちらでもない	3.悪い
② デザイン、レイアウト	1.良い	2.どちらでもない	3.悪い
③ レポートの分量	1.良い	2.どちらでもない	3.悪い

Q4. 本レポートについて、最も興味を持ったトピックについてお聞かせください。

Q5. 来期以降、本レポートに記載する必要のあるトピックについてお聞かせください。

Q6. その他、本レポートに対するご意見等ございましたら、お聞かせください。

ご協力ありがとうございました。下記送付先までお送りください。

送付先

メール/niraku@sprg.com.hk
ファックス/024-992-2221
郵送/〒963-8811 福島県郡山市方八町2-1-24

CSR REPORT
2020



NIRAKU GC HOLDINGS, INC.